

# 平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年2月5日

上場会社名 **ダイワボウ情報システム株式会社** （コード番号：9912 東証・大証第1部）

（URL <http://www.pc-daiwabo.co.jp/>）

代表者 取締役社長 松本 紘和

問合せ先責任者 取締役財務部長 小山 紀 （TEL：(06) - 6281 - 1161）

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：  
有  
・引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況：  
無

## 2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況 （百万円未満の金額は、いずれも切り捨てて表示しております。）

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年3月期第3四半期	239,974	1,141	752	275
15年3月期第3四半期				
(参考)15年3月期	334,541	2,879	2,623	1,012

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	16 83	
15年3月期第3四半期		
(参考)15年3月期	56 03	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。  
当第1四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率につきましては記載しておりません。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期のわが国経済は、輸出関連企業の好調や全体的な企業収益の改善により、民間設備投資の増加基調など、ゆるやかに景気回復の動きがみられました。

国内パソコン業界においては、電子情報技術産業協会（JEITA）の発表によれば、第3四半期（10～12月）は、台数ベースでは引き続き好調で、3四半期連続のプラス成長となりました。企業向け市場では、経済情勢が上向き、IT投資が回復してきたこと、IT投資促進税制の利用拡大を背景に、リプレース・増設需要が本格化してきました。ただ、販売単価の下落が激しく、金額ベースでは、8%減少し、販売単価は、過去最低となりました。

このような状況下、当社グループは、「オーバー・ザ・ミリオン」キャンペーンとして、当年度、当社グループでのPC本体の扱い台数が100万台を超えることを目標にシェアアップに取り組んでおります。販売競争激化で利益率の悪化が続いているなか、物流効率化プロジェクトを発足させ、物流コストのグループ全体での見直しをはかるなど、ローコストオペレーションの徹底に努めました。

基幹業務を行なう販売・物流管理システムの次期バージョン「DIS-NET」の概要設計プロジ

エクトを進めておりましたが、このたび、約20億円の予算でNECに発注しました。将来の売上拡大に対応したシステム処理能力の向上、システム統合による全体最適化、販売店・メーカーとの連携強化をめざしております。

[ 当社グループの四半期業績の特性について ]

わが国においては、事業年度末を3月と定めている企業が多く、システムの導入・検収が、9月及び3月に集中する傾向にあります。また、機器の納入についても、年度末の3月度に集中する傾向にあります。グループの業績は、季節変動があり、第4四半期(1~3月)に多く計上され第4四半期の動向が通期業績に大きな影響を与える傾向にあります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	117,667	26,494	22.5	1,620 35
15年3月期第3四半期				
(参考) 15年3月期	122,912	26,609	21.7	1,621 18

[ 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期における当社グループの財政状態は、前連結会計年度末に比べて総資産が減少しております。これは、売上高期末集中の影響によるもので、前期末には売上債権及び仕入債務の残高が高水準となっており、当第3四半期に債権回収及び仕入債務の決済がされたためであります。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

当第3四半期においては、計画を若干下回りましたが、第4四半期で挽回可能と判断し、現時点では通期の連結業績は、平成15年11月6日発表の予想を変更しておりません。

ただし、実際の業績は今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる場合があります。

以 上

添付資料

- ・ 四半期連結(要約)損益計算書、四半期連結(要約)貸借対照表

(添付資料)

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	当連結会計年度 第3四半期 (平成15年12月31日)		前連結会計年度 要約貸借対照表 (平成15年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
現金及び預金	8,522		3,200	
受取手形及び売掛金	66,950		74,395	
たな卸資産	17,870		20,205	
その他	2,899		3,586	
流動資産計	96,242	81.8	101,388	82.5
固定資産				
有形固定資産	15,117	12.9	15,480	12.6
無形固定資産	1,318	1.1	1,506	1.2
投資その他の資産	4,989	4.2	4,537	3.7
固定資産計	21,424	18.2	21,524	17.5
資産合計	117,667	100.0	122,912	100.0

(負債の部)				
流動負債				
支払手形及び買掛金	69,797		76,124	
短期借入金	7,900		6,708	
その他	2,957		3,561	
流動負債計	80,654	68.6	86,394	70.3
固定負債				
長期借入金	8,265		7,760	
退職給付引当金	482		403	
役員退職給与引当金	237		307	
その他	997		898	
固定負債計	9,981	8.5	9,369	7.6
負債合計	90,636	77.1	95,764	77.9
(少数株主持分)				
少数株主持分	536	0.4	539	0.4
(資本の部)				
資本金	9,318	7.9	9,318	7.6
資本剰余金	9,501	8.1	9,501	7.7
連結剰余金	7,633	6.5	7,781	6.4
その他有価証券評価差額金	52	0.0	16	0.0
自己株式	11	0.0	8	0.0
資本合計	26,494	22.5	26,609	21.7
負債、少数株主持分及び資本合計	117,667	100.0	122,912	100.0

四半期連結（要約）損益計算書

（単位：百万円）

科 目	期 別		前 連 結 会 計 年 度	
	第 3 四 半 期		要 約 損 益 計 算 書	
	自 平 成 15 年 4 月 1 日		自 平 成 14 年 4 月 1 日	
	至 平 成 15 年 12 月 31 日		至 平 成 15 年 3 月 31 日	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
売 上 高	239,974	100.0	334,541	100.0
売 上 原 価	221,018	92.1	307,884	92.0
売 上 総 利 益	18,955	7.9	26,656	8.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,813	7.4	23,777	7.1
営 業 利 益	1,141	0.5	2,879	0.9
営 業 外 収 益	119	0.0	367	0.1
営 業 外 費 用	509	0.2	622	0.2
経 常 利 益	752	0.3	2,623	0.8
特 別 利 益				
特 別 損 失			160	0.1
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	752	0.3	2,463	0.7
法人税、住民税及び事業税	224	0.1	1,415	0.4
法人税等調整額	167	0.0	97	0.0
少数株主利益	85	0.0	132	0.0
第3四半期(当期)純利益	275	0.2	1,012	0.4